

Ochanomizu Bible Institute

# OBI

## お茶の水聖書学院

# NEWS



〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台 2-1  
OCCビル 2F  
TEL 03-3296-1005  
FAX 03-3296-4641  
e-mail office@obi-net.com  
Web http://www.obi-net.com  
お茶の水聖書学院  
お茶の水聖書学院後援会

## 「神学するためには」

理事・講師 堀 肇



ますと、そこで得られる情報はマニユアル化されたものが多く、答えが出てしまっているからです。

この頃というより、この時代に生きている者として感じる危機感の一つは、情報が溢れ、知ろうと思えばネットなどを通して即座に必要な知識を手でできるということです。これがなぜ危機かと言

一つの概念や思想を学ぶ場合で言えば、読書の時のような考えながら立ち止まりながら学ぶようなプロセスがないのです。こういう情報収集の仕方ばかりやっていくと、物事を考える力が衰えてくる

のです。真似は出来ても想像力や思考力が育たなくなるのではないかと思います。危機とはそのことです。

大学の学期末レポートを採点していた時のことですが、実に要領よくまとめた文章を見て、瞬間的に何か不自然なものを感じた経験があります。驚いたことに同じような文章が幾人ものレポートに見られたのです。おやつと思い、課題のテーマについてネットで検索しますと、出所が判明しました。みなそこから引きだし、切り貼りしていたのです。

私が問題だと感じたのは、ネットの必ずしも正確でない情報を参考にしたということより、自分で考えていないということでした。良い論文やレポートを書くということは、単に情報整理や概念操作が上手くなるということではなく、与えられた課題やテーマを自分で考察してみるということなのです。手っ取り早い参考資料を鵜

呑みにしないで、信頼できる他の文献にも当たり、自分で考え、自分の言葉で表現していくことが必要です。

これは、論文やレポートの問題にとどまらず、日常生活や信仰生活においても同じなのです。デボーションを例に取れば、聖書を読み、祈るだけでなく、思考や感情や記憶を働かせて黙想する必要があります。霊想書があっても、それは参考までにしておき、自分と神との関係の中で考え、悩み、祈るのです。そうすると、いつしか新しい気づきが与えられ、それが自分のものとなります。

確かに早い情報というものは便利です。しかし何かを学ぶと言う場合、単に知識や情報を頭に入れるのではなく、それを自分の魂の奥深くでしっかりと熟考し、味わうことが大切です。信仰の世界では、こういう作業をしていくことが、「神学する」ことの土台作りだと私は思っているのです。

# サマースクーリングの恵み

## ▼聖書科通信コース

駒井 卓

今回サマースクーリングに参加でき、予想を超えた神様からの祝福に感謝しました。黒木先生を通しての聖書講義から、信仰の原点である「神を神とする信仰」の大切さを確認させられました。ともすると信仰のあり方が自分の目的を優先したものとなってしまう危険性に対し、信仰の本質を常に神に置くことを覚えて歩むべきことを示されました。併せて先生方・兄弟姉妹方との交わりを通して、一人ひとりの信仰生活の証しを伺うことができ、神様の御業が色々な形で実現されていることを知り、新たな信仰の目が開かれた思いがあります。

自分は通信での学びのため、これまでOBIの先生方や学んでいる方々と直接お会いする機会がなかったため、今回各位の人柄、考



え方また生き方等を肌で感じるものが出来たことは大きな刺激であり喜びでした。通信教育では知識面の学びは出来ませんが、先生方などの人格を通しての教育を受けられないことは残念に感じていましたので、その意味で本スクーリングは自分にとって意義深いものでした。各位との交わりから、自身もキリストから日々良きものを与えられ、他の人々にキリストの香りを放つ者として歩んでいく大切さを確認させられました。

## ▼聖書科通学コース

鬼京 由紀子

今年は黒木安信先生の「創世記」待望のご講義でした。私は2回目から受講させていただきまし

た。先生は「創世記の族長物語は、人間の失敗や愚かさなど罪の連続の中で、神は愛の御手をもって、神の祝福を継承させていかれる神の救いのドラマである」ことを、イサク、ヤコブ、ヨセフの生涯を通して語られました。井戸を深く掘り続けることにより、信仰を深められていくイサクの姿から「あきらめない信仰」を、生来の性格が神の愛によって変えられ、自己変革と和解へと導かれるヤコブの生涯を通して、「すべては神の恵みとする謙遜な信仰」を教えられました。

ヤコブは神のために再び祭壇を築きます。先生は「祭壇とは犠牲を捧げる場所。私達の真の祭壇はイエス・キリストです。聖なる神のために『損をする喜び』を」勧

められました。私のためにいのちを捧げてくださった主イエス様のため、損をすることに喜びを感じる者とさせていただけますように願っています。

最後に、ヨセフの生涯を通して「摂理の神は愛の神」であられること「あなたがたは悪を企みましたが、神はそれを善に変え」からローマ8章28節のみことばを「示さ



# 夏季スクーリング 声楽・オルガンコースの恵み

## ▼ 音楽科一般コース講師

植木 朋子

第八回となる今年は声楽・オルガンコースは会場の都合にて日程別にて開かれました。日帰り参加出来るスケジュールです。

暑さの中でしたが希望者全員出席し、熱心に学ぶ事が出来ました。声楽コースは、学院生2名、OG1名、夏季スクーリング参加者1名の計4名。キリスト教朝顔教会（日本福音キリスト教会連合）をお借りできました。7月9日（月）は10時から16時半。オルガンは会堂に合った清々しい響きに本当にうれしく思った事でした。

例年第7回までは、軽井沢の追分教会をお借りして一泊二日のスケジュール。今回はペンションでの交わり、ゆったりとしたくつろぎ等の余暇はありませんでしたが、遠方より聞きにきてくださっ



た方々とコンサート終了後、時間の許す限りおしゃべりを楽しめました。プログラムは曲にふさわしく内藤真奈先生のオルガンとピアノの伴奏にてそれぞれ熱唱しました。勉強開始二年目、六年目、十年目と学んできた背景は違いますが、「賛美は力なり」と落ち着いて歌唱し、良き証しとなった事です。学院長の閉会の祈り、記念撮影にて解散となりました。尊いお祈りを感謝申し上げます。

## ▼ 音楽科一般声楽コース学生

猪狩 多佳子

声楽・オルガンコースの夏季研修会も8回目を迎え、今年はキリスト教朝顔教会を会場に各コースごとの一日研修となりました。

声楽コースはOG、現役あわせて4名が、内藤真奈先生の伴奏のもと、植木朋子先生のご指導を受けました。ストレッチ、呼吸法、発声練習を経て各自準備してきた曲の個人レッスンです。午後のコンサートのことを思うと、いつもに増して真剣。緊張は高まってきます。生徒の私たちは自分の曲（今回は二曲ずつ）だけでへとへとになりますが、先生方は指導に加えてご自分の演奏もなさるので、一日中気の休まる時がないと言っても過言ではありません。主にあつて感謝の思いは尽きないことです。

コンサートでは世良田先生、福井先生からお祈りと温かい励ましの言葉をいただき、梅雨の晴れ間

の暑い日でしたが、来会された方々とともに、主をほめたたえる豊かな時を過ごせたことをご報告いたします。

栄光を主に帰し、今後も学びを深めていきたいと思っています。



音楽科一般声楽コース、オルガンコースでは、随時学院生を募集しております。また今年から、ピアノコースも開講しております。詳しくは事務局までお気軽にお問い合わせください。

☎ 03 (3296) 1005

## 学窓トピック

### ●サマースクーリング終了

7月3日(火)～5日(木)、嵐山国立女性教育会館にて開催されました。講師はウェスレアン・ホーリネス教団浅草橋教会牧師、同神学院学院長の黒木安信師でした。出席者28名、多くの恵みをもたらしました。音楽一般科声楽コースは7月9日(月)、オルガンコースは同13日(金)にキリスト教朝顔教会にて開催。恒例のコンサートは、15名の出席で祝されました(関連記事2、3頁)



### ●通信コース新カリキュラム

『新実用聖書注解』(いのちのことば社刊)を標準テキストとして、

旧新約各書を学びます。またFAX、郵便もご利用できます。継続学習や通学コースとの併用など、ぜひご利用ください。

### ●教会福音讃美歌セミナー

OBI主催、福音讃美歌協会・いのちのことは社後援にて、6月9日(土)、7月21日(土)の各日程で教会福音讃美歌セミナーが開催されました。講師は日本福音キリスト教会連合管生キリスト教会牧師・福音讃美歌協会副理事長、中山信児師・桜美林大学総合文化学群准教授・福音讃美歌協会讃美歌委員・植木紀夫師でした。総出席者83名、良き学びとなりました。『教会福音讃美歌』は、福音派諸教会の手による新しい讃美歌集を編纂する作業を進めてきた一般社団法人福音讃美歌協会(JEACS)による讃美歌集です。第三回セミナーを10月27日(土)に予定しております。詳しくは事務局までお問い合わせください。案内をお送りします。

## 2012年度後期生募集、後期カリキュラム

|     | 月                   | 火                           | 水 | 木                         | 金                           | 土 |
|-----|---------------------|-----------------------------|---|---------------------------|-----------------------------|---|
| I   | 11:00<br>～<br>12:30 | 新約聖書概論(*)<br>福井 誠           |   | 牧師と信徒が<br>共に学ぶ牧会学<br>藤原導夫 | キリスト教信仰の<br>基礎知識<br>中島總一郎   |   |
| II  | 13:30<br>～<br>15:00 | 1,2 サムエル記解説(*)<br>世良田湧侍     |   | ライフサイクルと信仰<br>堀 肇         | エレミヤ書解説<br>稲垣緋紗子            |   |
| III | 15:30<br>～<br>17:00 | 聖書原典購読中級<br>野口 誠            |   | 聖書の世界<br>飯島 勅             | ローマ人への手紙<br>解釈と神学<br>岩上敬人   |   |
| IV  | 18:30<br>～<br>20:00 | 信徒のための<br>聖書教理入門(*)<br>福井 誠 |   | *                         | イエス様を学ぶ(マタイの福音書を軸に)<br>河村従彦 |   |

\*藤原導夫師、中島總一郎師、稲垣緋紗子師の講座は後期新開講になります。

\*来年3月「聖書の世界」スタディツアーを予定しております。後ほどご案内いたします。

\*ピアノコース、通信科コースは随時受け付けとなります。詳しくは事務局までお問い合わせください。

## 【セミナー受講者の感想】

### ▼J E C A前橋キリスト教会

教会オルガニスト 内田しづか

何年も前から「福音派の讃美歌集を作ろう！」という動きがあることを聞いていましたので、このセミナーに期待を持って参加させていただきました。

二回に渡るセミナーは、「礼拝」、「賛美」、「奉仕」、「讃美歌の歴史」、そして「教会福音讃美歌を実際に歌う」など豊かな内容で、今まで学んできたことに更に新たな視点を与えられ、感謝でした。

特に、教会の中に様々な讃美の形態が生まれてきているこの時代にあって、あらゆる世代の方々が心合わせて主を讃美するために、何を大切にし、どんなことに配慮すべきかを考えさせられました。また、実際に「教会福音讃美歌」を歌ってみて、言葉が分かりやすい、言葉とメロディーが一致している、伴奏形態の可能性が広いという印象を持ちました。

讃美歌に限らず、教会における伝統と「その時代に生きる」ことについても考えさせられるセミナーでした。



### ●クリスマス予定

恒例のクリスマスは、12月4日

(火)の予定です。今年から学生会企画で準備を進めます。

### ●聖書翻訳セミナー開催予定

11月28日(水)の日程で、OB

I 一日セミナー「聖書翻訳の諸課題・新改訳聖書を例に」を開催します。講師は、東京基督教大学教授(旧約学)新改訳聖書翻訳改訂委員(旧約主任)の木内伸嘉師。

二回の講義を通し、聖書翻訳の

諸課題を具体的に学びます。

### ●教会音楽科学院生募集

教会音楽科では後期学院生を募集しております。詳しくは事務局にお問い合わせてください。

### 【教会音楽科と私】

音楽科・伊智知 恵子

私が入学したのは、2000年ですので、今年で13年目になります。今までの12年間少しは勉強してきたのかといえ、はなはだ心もとない私ですが、人生も晩年に近くなつてから、このような幸せが待っているとは想像もしていませんでした。

長く教会から離れていた私が今の教会の礼拝に出るようになって来年で20年になりますが、久しぶりに讃美歌を歌って、声が出ないことに愕然としました。暫くして、知り合いの方に押しかけ弟子としていただき2年ほどレッスンを受けましたが、そのうち、牧師からお茶の水聖書学院を紹介されて、入学を申し込ました。試験の

時に歌う讃美歌をあらかじめ連絡しておかなければならないことを知らなかった私は、試験の場でうろたえてしまい、「この曲を」と言いましたら伴奏してくださる方に「それは弾けません」と断られ、あわてて「では312番を」と言った記憶があります。412号室の右側の壁沿いに何人かの先生がおられました。歌い終わって先生方の前に行つたとき、西脇先生がニコニコなさつて「ここは三年間勉強できますよ」と言ってくださり、その当時の基礎科に1年だけ勉強するつもりだった私がそのまま13年もの間学校に留まつているのは、神様のみわざとしか言いようがありません。

この13年、先生方から教えるを受けることができて、この感謝の思いをことばにするのは難しいと思っています。実技もそうですが、ここに来なかったら、生涯知ることのなかった「教会と音楽」「讃美歌の歴史」「聖歌隊指導法」「教



理史」などの授業や旧・新約聖書

からの学びなど、たくさんの学びをさせていただきました。自分の娘より若い人に混じっていつもパワーと信仰の力を与えられています。音楽は何故幼い頃から学ぶことが大切かということも、ここに来て分かりました。音楽は学んでも学んでも学びつくせないものです。残された時間の少ない私にもう少し頑張ろうと思っていますし、辛抱強く導いてくださる先生方、心からの感謝をいつも感じています。「楽しんで勉強してね」と言うてくださった西脇先生のおことに背中を押されている私です。

## ご献金者名

(2012年3月～2012年7月)

2012年度もご協力いただきありがとうございます。

2011年度卒業生一同

阿久津千枝子／阿部幸平／金本悟  
荒粕瑞枝／有田貞一・美榮子／  
飯島多稼夫／飯島延浩／石井由紀

猪狩友行・多佳子／生田今日子／  
石塚幸子／伊藤洋子／伊藤淑美／  
植木朋子／上田留美子／内田光子  
梅沢近子／繪嶋彰／奥津晃・榮子  
小野沢恵子／尾原光彦／木下順子  
加茂康一・早苗／堀肇／国東恵子  
窪井節子／窪田淳子／倉内一壽／  
倉沢薫代／小林喜久男／斎藤潔／  
斉藤とし子／佐藤敬／佐野盾一／  
嶋本洋子／菅井裕子／杉山礼子／  
須子都／鈴木芳宣／世良田湧侍／  
田中恵子／田畑勝敏／戸川偕生／  
永澤良子／中島總一郎／永田稔／  
浪井弘子／芳賀功／原正子／日名  
富子／平松庸一／福井誠／藤原導  
夫・智子／北城みどり／堀肇／堀  
口容子／増尾善文／町田恵子／松  
本逸子／黛藤夫／三浦喜代子／三  
友庸子／宮内芳枝／目崎由起子／  
森本馥／山本しづか／山本望／吉  
田和子／米田由起子／脇坂勇／  
渡辺英子／中山キリスト教会／ナ  
ザレ企画／市川北バプテスト教会  
鶴瀬めぐみキリスト教会／練馬神  
の教会／ホサナ・キリスト教会

## 後援会から

後援会会長 三浦 喜代子

頌主。2012年度のOB I諸活動は順調に半期を過ごし、後期に入ります。いつもOB I後援会を祈りと献金によって支えてくださり厚く感謝申し上げます。

夏季献金にご協力を賜りありがとうございました。皆様方の貴い捧げものは、運営の収支を注視しながら、祈りの内に充当させていただいています。昨今、憂うべき現象が起きています。従来の維持献金者数及び献金額が著しく減少していること、新規加入者が少ないこと、協力献金も減少していることです。もろもろの理由が考えられますが、第一は支援者の高齢化であり、世の中の経済の停滞によるものです。しかしながらOB Iが主からいただいた使命を継続していくためには、多大な経済力が必要です。今後ますます後援会の支援は重要性を増していきます。卒業生や諸教会、諸団体の支援が

強化されるとともに、特別に大きな志を与えられた方々が起こされますように、ぜひご支援ご加禱を願います。

## ご報告

西満(にしみつる) 先生は8月3日(金)午前8時21分、80歳の地上の生涯を終えられ、千葉県白井市のご自宅で主のみもとに召されました。

先生はOB Iで旧約聖書を長年にわたって教えてくださいました。ご講義には情熱がこもっており、しかも分かりやすく語ってくださることで学生からは喜ばれ、人気がありました。最近では体調をくずされながらも、弱った肺機能を強化するための酸素ボンベのカートを引きつつ、ご自宅からお茶の水聖書学院に通ってくださいました。

8月7日(火)、東京基督教大学・国際宣教センター内チャペルにて多くの方々が参列され、葬儀が執り行われました。